

調整力募集要綱に関する用語の定義

2021年8月30日

東北電力ネットワーク株式会社

1. 電源等分類

用語	定義
電源Ⅰ	一般送配電事業者があらかじめ確保する専用線オンライン指令（簡易指令システムを用いたものを除く）で調整できる電源等をいいます。（このうち、周波数制御機能を提供することを必須とするものを電源Ⅰ周波数調整力、周波数制御機能を提供することを期待されないものを電源Ⅰ需給バランス調整力と区分します。）
電源Ⅰ 周波数調整力	当社があらかじめ確保する専用線オンライン指令（簡易指令システムは除く）で調整できる電源等のうち、周波数制御機能の具備を必須とするものとします。
電源Ⅰ' 厳気象対応調整力	当社があらかじめ確保する、オンライン指令（簡易指令システムを含む）で電力の供出ができる電源等とします。なお、厳気象時等の需給対応を主な目的として募集するため、周波数調整機能の具備は必須としないものとします。
電源Ⅰ 需給バランス調整力	当社があらかじめ確保する、オンライン指令（簡易指令システム（取引規程（需給調整市場）の通信設備に関する要件を満たすもの）を用いたものを含みます。）で調整できる契約設備をいいます。なお、常時の周波数制御には用いず、需給バランス調整対応の調整力のため、周波数調整機能の具備は必須としないものといたします。
電源Ⅱ	当社から専用線オンライン指令（簡易指令システムを用いたものを除く）で調整ができる電源等（電源Ⅰを除く）であり、ゲートクローズ（発電事業者および小売電気事業者による需給計画の提出締切り（実需給1時間前）以降余力がある場合に当社が周波数制御・需給バランス調整のために利用することが可能なものをいいます。（このうち、周波数制御機能を当社に提供することを必須とするものを電源Ⅱ周波数調整力、周波数制御機能を当社に提供することを期待されないものを電源Ⅱ需給バランス調整力と区分します。）
電源Ⅱ 周波数調整力	当社から専用線オンライン指令（簡易指令システムは除く）での調整ができる電源等のことであり、ゲートクローズ以降余力がある場合に、当社が周波数制御・需給バランス調整のために利用することが可能なものうち、周波数制御機能の具備を必須とするものとします。
電源Ⅱ' 低速 需給バランス調整力	当社からオンライン（簡易指令システムを含む）での調整ができる電源等のことであり、ゲートクローズ以降余力がある場合に、当社が需給バランス調整のために利用することが可能なものうち、周波数制御機能の具備は必須としないものとします。
電源Ⅱ 需給バランス調整力	当社からオンライン指令（簡易指令システム（取引規程（需給調整市場）の通信設備に関する要件を満たすもの）での調整ができる電源等のことであり、ゲートクローズ以降余力がある場合に、当社が需給バランス調整のために利用することが可能なものうち、周波数制御機能の具備は必須としないものとします。
電源Ⅲ	当社からオンライン指令での調整ができない電源等とします。
DR (ダイヤモンドリスpons)	需給バランス調整のために、需要者側で電力の使用を抑制もしくは増加することをいいます。(Demand Response の略)
ネガワット	需要家の需要抑制等による順調流（一般送配電事業者が運用する電力系統から需要家の構内側へ向かう電力の流れ）の減少のことをいいます。
ポジワット	発電設備の増出力による逆潮流（発電設備等の設置者の構内から一般送配電事業者が運用する電力系統側へ向かう電力の流れ）の増加のことをいいます。

用語	定義
アグリゲーション	複数の需要家の需要抑制または発電設備の増出力を束ねることをいいます。
アグリゲーター	単独または複数の、ネガワットまたはポジワットをアグリゲーションし、それらに対する負荷または発電制御（増または減）量・期間等を指令し、制御を実行させることにより、総計として、当社の指令に応じ、本要綱に定める要件を満たす需給バランス調整を実現する事業者（その事業者が調整力提供にあたって使用する設備を含みます。）をいいます。なお、需要家自らがアグリゲーターとなることも可能です。
ネガポジ型リソース	1 需要場所に設置されている自家発等を用いて、需要を抑制（ネガワット）したうえで、更に自家発等の余力を活用して逆潮流（ポジワット）まで供出するリソースのことをいいます。
調整電源	電源Ⅰ，Ⅰ′ など一般送配電事業者と調整力に関する契約を締結し、一般送配電事業者がオンライン（ただし、簡易指令システムを用いたものを含む）で出力調整できる電源等のことをいいます。
非調整電源	電源Ⅲなど調整電源に該当しない電源等のことをいいます。
発電バランスンググループ（発電 BG）	単独または複数の発電所を保有する発電者の集まりで組成されるグループのことで、インバランス算定の単位となることをいいます。

2. 需要関連

用語	定義
H 3 需要	ある月における毎日の最大電力（1 時間平均）を上位から 3 日とり平均したものをいいます。
H 1 需要	ある月における毎日の最大電力（1 時間平均）の最大値をいいます。
エリア需要	当社の供給区域で消費される電力のことをいいます。
需給ひっ迫	想定される需要に対して、供給力不足が見込まれる状態をいいます。

3. 契約・料金関連

用語	定義
契約電力	調整力として契約する電源等との契約キロワットで、原則として常時、当社の指令に従い運転継続時間にわたって供出可能な出力を指します。
契約電源等	発電設備を活用した入札案件である場合は、発電設備等を、DR を活用した入札案件である場合は、負荷設備等とアグリゲーターとを併せていいます。
電源Ⅰ 周波数調整力契約	電源Ⅰ 周波数調整力として活用する電源等と締結する契約のことを指します。（ただし、周波数調整機能を有するものに限りません。）
電源Ⅰ′ 厳気象対応調整力契約	電源Ⅰ′ 厳気象対応調整力として活用する電源等について、需給バランス調整の実施を目的とした調整力供出の取決めを締結する契約のことを指します。
電源Ⅰ 需給バランス調整力契約	電源Ⅰ 需給バランス調整力として活用する電源等と締結する契約のことを指します。

用語	定義
電源Ⅱ 周波数調整力契約	電源Ⅱ周波数調整力として活用する電源等と締結する契約のことを指します。(ただし、周波数調整機能を有するものに限りません。)
電源Ⅱ' 低速需給 バランス調整力契約	電源Ⅱ' 低速需給バランス調整力として活用する電源等と締結する契約のことを指します。(ただし、簡易指令システムを用いたものを含みます。)
電源Ⅱ 需給バランス 調整力契約	電源Ⅱ 需給バランス調整力として活用する電源等と締結する契約のことを指します。
提供可能時間数	契約電源等を当社の指令に従い電力の供出が可能な状態で維持できる時間をいいます。
運転継続時間	契約電源等が、運転を継続できる時間をいいます。
連続運転可能時間	当社が契約電源等に対し、当社指令に応じた調整の継続を求める時間で、3時間をいう。
年間停止可能日数	年間で契約電源等を補修等のために、ペナルティなしで停止できる日数とします。
計画外停止	契約電源等が、事故あるいは計画になかった補修等により停止に至った日数とします。
計画停止	契約電源等を、各断面(年間、月間、週間)において補修等のためにあらかじめ計画を策定して停止する日数とします。
基本料金	契約電源等がkWを供出するために必要な費用への対価をいいます。
従量料金	当社指令により、契約電源等が運転または需要抑制を行い、電力(kWh)を供出するために必要な費用への対価をいいます。
申出単価	従量料金を算定する際に利用する単価のことであり、契約者から原則として毎週提出していただきます。
上げ調整単価 (V1)	当社が契約電源等に対して、出力増指令したことにより増加した電気の電力量に乗じて支払う1kWhあたりの単価をいいます。
下げ調整単価 (V2)	当社が契約電源等に対して、出力減指令したことにより減少した電気の電力量に乗じて受け取る1kWhあたりの単価をいいます。
起動単価 (V3)	当社が契約電源等に対して指令したことにより、追加で電源等を停止状態から、系統並列させた、または計画していた起動を回避した回数に応じて、それぞれ必要または不要となった起動費用の単価をいいます。ただし、契約電源等が、DRを活用したものである場合には、当該費用については考慮しません。
その他単価 (V4)	当社が契約電源等に対して、定格出力以上の出力指令をした場合等、V1～V3で設定できない事由に適用する単価をいいます。ただし、契約電源等が、DRを活用したものである場合には、当該費用については考慮しません。
需給調整市場システム	需給調整市場においてΔkW(一般送配電事業者が、調整電源を調達した量で調整できる状態で確保し、必要なときに指令できる権利)を取引するためのシステムをいいます。
応札者	本要綱にもとづき入札書を提出する事業者をいいます。
落札者	本要綱にもとづき評価した結果、協議の後、当社が契約を締結することを決定した応札者をいいます。

4. 発電機能関連

用語	定義
系統連系技術要件	一般送配電事業者が維持・運営する電力系統に接続する電源に求める術的な要件であり、託送供給等約款の別冊にて規定します。
周波数調整機能	発電機が接続する電力系統の周波数制御を目的とし、出力を増減させるために必要な機能とします。
ガバナフリー運転	発電機の回転速度を負荷の変動の如何にかかわらず、一定の回転速度を保つように、動力である蒸気または水量を自動的に調整する装置である調速機（ガバナ）により、系統周波数の変化に追従して出力を増減させる運転を行う機能をいいます。
周波数変動補償機能	系統の周波数変動により、ガバナで調整した出力を発電所の自動出力制御装置が出力指令値に引き戻すことがないように、ガバナによる出力相当を出力指令に加算する機能をいいます。
出力低下防止機能	ガスタービンおよびガスタービンコンバインドサイクル発電設備（GT および GTCC）については系統周波数の低下に伴い発電機出力が低下することから、周波数 49.0 ヘルツまでは発電機出力を低下しない、もしくは、一度出力低下しても回復する機能をいいます。
L F C	定常時における電力系統の周波数および連系線の電力潮流を規定値に維持するため、負荷変動に起因する周波数変化量や連系線電力変化量などを検出し、発電機の出力を自動制御することをいいます。 なお、A F Cと同義です。（Load Frequency Control の略）
L F C 幅	運転基準出力値を変更することなく、L F C 機能のみで変動できる出力の大きさとします。
D S S	需給運用の一環として、1日の間に起動・停止を行うことから、日間起動停止運転といいます。 （Daily Start up and Shut down もしくは Daily Start Stop の略）
E D C	当社からの出力指令値に発電機出力を自動追従制御する機能とします。中央給電指令所から発電機に対する出力指令値はD P Cと同等です。（Economic load Dispatching Controll の略）
O P 運転	事業者と事前に合意のうえ、定格出力を超えて発電することをいいます。（Over Power の略）
ピークモード運転	事業者と事前に合意のうえ、排気ガスの温度設定を通常の運転値より超過させることにより出力を上昇させる運転のことをいいます。
ブラックスタート	当社の供給区域において広範囲に及ぶ停電が発生した場合、当社の電力系統からの電力供給を受けずに発電機の起動が可能な機能を有する電源のことをいいます。
調相運転	当社の供給区域の電圧調整のために、揚水発電機（ポンプ水車）の空転状態において力率調整を行なうことにより無効電力を供給または吸収することをいいます。
専用線オンライン	当社の供給区域の周波数調整を行なうため、中央給電指令所から通信伝送ルートを通じて、直接的に、周波数調整機能を具備した電源への運転指令をいいます。
揚水運転	揚水発電所において、発電電動機を用い水車（タービン）をポンプとして利用して、下池から上池へくみ上げることをいいます。
E L D	電力系統の安定かつ合理的運用を目的に、各電源等に最も経済的になるよう負荷配分を行なう制御をいいます。（Economic Load Dispatching の略）

用語	定義
調整力ベースライン	約款、エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン（資源エネルギー庁策定）における標準ベースライン等、DR を実施する際、その出力増減幅の基準となる負荷消費電力または一定期間の負荷消費電力量に属地 TSO の約款における損失率を考慮したものをいいます。